



THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF FUKUYAMA

事務局：福山YMCA ☎ 084-926-2211



2016年
8月
Vol.2

福山ワイズメンズクラブ

チャーター：1980年10月15日 DBC: 岡山クラブ IBC: 韓国 POHANG SAMARIAN クラブ

役員

会長：辛島 清孝
書記：沖島 均
会計：沖島 均
連絡主事：岡田 雅志

国際会長：「私たちの未来は、今日から始まる」
アジア地区会長：「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事：「ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！」
西中国部部長：「西中国部 100人達成」
福山クラブ会長：「クラブ間の連携を強化し、力を合わせてワイズ活動を推進する」

部長公式訪問

8月25日(木)に西中国部の佐竹部長と高瀬事務局長をお迎えして福山クラブ8月例会を開きました。例会のあと駅近くの居酒屋で懇親会を開きました。



西日本区、西中国部の活動内容を丁寧に話し合われているという印象でした。新入会員さんも今後入会されるとお聞きし、福山クラブの今後の発展を確信しました。



例会後の懇親会もとっても楽しくて、会話ははずみ、お酒も進みました。今回は、運転手は高瀬西中国部書記だったので(広島・呉・東広島合同例会は私が運転手でした)、吞ませていただき、とても楽しいひと時を過ごさせていただきました。部長ではなくてもまたお邪魔したい例会だと思いました。

ブリテンも今期から作成されていて、福山クラブの意気込みが感じられました。福山クラブの今後の発展と会員の皆様の活躍を期待しています。

福山クラブ部長公式訪問例会に参加して

西中国部部長(岩国みなみクラブ) 佐竹早苗

8月25日、福山YMCA 2階チャペルにおいて行われた福山クラブ8月例会を訪問させていただきました。

福山は大学時代3年間住んでいて、懐かしい思い出がある場所です。福山城に毎年花見で行っていたにも関わらず、福山YMCAがこんなに近くにあるとは知りませんでした。例会に先だって、沖島ワイズ(福山YMCA館長)に館内を案内していただきました。色々な事業をされていて、びっくりしました。地域に根付いた事業なのかなと思いました。

例会の会場となるチャペルの雰囲気もとってもよくて、落ち着きました。例会は、厳かに行われていて、

— 今月の聖句 —

イエスは、招待を受けた客が上席を選ぶ様子を気づいて、彼らにたとえを話された。「婚宴に招待されたら、上席に着いてはならない。あなたよりも身分の高い人が招かれており、あなたやその人を招いた人が来て、「この人に席を譲ってください」と言うかもしれない。そのとき、あなたは恥をかいて末席に着くことになる。招待を受けたら、むしろ末席に行って座りなさい。そうすると、あなたを招いた人が来て、「さあ、もっと上席に進んでください」と言うだろう。そのときは、同席の人みんなの前で面目を施すことになる。だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。



ルカによる福音書 13章 7節~11節

8月例会の報告

日時：8月25日(木) 午後6時30分~

◆ 例会

- ・福山YMCA 2階チャペル 部長公式訪問
- ・会計予算承認 ・ジャガイモ申込
- ・福山YMCA チャリティーバザー他

◆ 懇親会 午後7時00分~

場 所：博多一番どり 福山駅店

出席者：岡田、沖島、上久保昭二、辛島、小松各氏

メイクアップ：上久保美智子さん 出席率：6/7

ビジター：佐竹早苗 部長、高瀬稔彦 事務局長

9月例会のご案内

日時：9月15日(木) 午後6時30分~

場所：福山YMCA 2階チャペル

BRANDING

YMCA ブランド・コンセプト 「発表とわかち合い」が開催されました

日本YMCA同盟の中期計画として進められている「YMCAブランディング・プロジェクト」の最初のまとめが完成し、全国3ブロックの1つとして9月10日に中央ランチで発表会が開かれました。このプロジェクトは昨年11月にスタートし、YMCAのイメージ・評価・認知度などの項目を調査し、それをもとに課題を見つけ出しYMCAが目指すブランドビジョンを構築するものです。今後は第2段階のコミュニケーションの軸となる柱づくりを推進することになります。

推進ブランドバリュー

- ◆ みつかる
Discover Something
- ◆ つながる
Meet Something
- ◆ よくなる
Be Good



発表する福山YMCA三浦友里江さん

熊本地震ボランティアワークキャンプの報告



専門学校 情報ビジネス科 金森 芽衣

この5日間をとおして、たくさんの方と出会い、たくさんの気持ちを感じることが出来ました。人の力って本当に素晴らしいものだと思える事が出来ました。相手の為に汗を流して働いている方、休みもとらないで懸命に働いている方、そんな素敵な人たちばかりでした。そして、一緒にこの熊本ボランティアワークキャンプに参加した16人のメンバーに出会って、それぞれ感じた思いや今後のことなどを聞き、自分にはない考えを持っているみんな本当に尊敬しています。けもリーダーが礼拝で教えてくださったマザーテレサの言葉、小さなことを大きな愛を持って行っただけです、この言葉を忘れず、これからも熊本や、困っている方と向き合い一緒に頑張っていきます。



熊本ボランティア活動に参加して 日本語科留学生

ドーティー フェ



留学生の3名

熊本へ行く前に新聞やテレビなどをとおして、熊本を見て、ただ想像することしかできなかった。しかし、実際に現地へ行き、めちゃくちゃになった家などを見て、初めて地震の怖さを感じた。本当に怖いと思った。そのような現状を目の当たりにして、いつになったら熊本が完全に復興できるのかという思いが心の中に生まれた。母国ベトナムは、地震による大きい被害を受けた経験が一度もない。これは本当に幸せなことだと思う。これから、日本だけでなく全世界で地震が起こらないよう願っている。

今回のボランティア活動は、わたしにとって「してあげる」ものではなく、「させていただく」ものだった。たくさんの心を熊本からいただいた。本当にありがとうございました。



マイド ゴックチャム

「愛されることより愛することを」。マザーテレサが言った言葉のように、わたしは人に愛情と信頼を伝えたいです。だから、今回のボランティア活動に参加しました。みんなの力になるために頑張りたいと思いました。でも参加して、熊本の人々を手伝ったというより、人々からいろいろなものをもらいました。たくさんのことを学び、得た、大事な体験でした。この活動に参加してよかったと思います。YMCAで勉強していてよかったです。わたしに世界を知るチャンスをくださってありがとうございました。

アリェンボルド ノムンダライ

私の国、モンゴルでは地震は全然起きないので、ボランティアに行く前の日、いろいろ思うことがありました。熊本に行ったら、一番強い地震が起きたところを見ました。そこでは、女子大学生が亡くなった家を見ました。家は全くなくなっていて、女子大学生が使っていたものがごみの中に捨ててありました。それを見たとき、何ともいえない気持ちになりました。5日間の短いボランティア活動でしたが、いろいろな経験をすることができました。このボランティア活動に参加して、本当によかったです。ありがとうございました。

